

東日本ユニオン  
**TOKYO**

2020春闘第2回団体交渉開催!

経営側

「要求満額を支払う  
経営体力は当然ある」

- ◆ しかし、将来の人事費に与える影響など総合的に判断する必要がある。
- ◆ 台風被害や新型コロナウイルスによる収入減など、直近の業績は厳しい。
- ◆ 生計費に対する物価上昇の影響はない。
- ◆ 「第二基本給廃止」は定年延長とセットで議論する。
- ◆ 世の中の動向も踏まえて突出感のないように留意すべきである。

組合側

「一律」満額回答を  
強く求める。

- ◆ 相次ぐ自然災害の中でも「営業収益」は過去最高である。
- ◆ 新型コロナウイルスで苦労している中で、頑張れるモチベーションは、鉄道員としての任務と使命から生み出されている。
- ◆ 賃上げを一律ではなく職制で「すみ分ける」ことは認められない。

JR東日本労働組合東京地方本部  
発行責任者 郷 重一  
発 行 教宣部   
2020年3月12日 NO. 116